

平成28年度 志教育全体計画

宮城県泉松陵高等学校

校 訓		
(1) 自律・啓発	(2) 友愛・協調	(3) 堅忍・不撓

本校の教育目標
(1) 感情や欲望に流されず、自らを律して高い教養と幅広い識見を身につけ、たえず自己を啓発していこうとする知的エネルギーを涵養する。 (2) 自他の人格を尊重し、且つ相互の信頼の上で一致協力し、平和で心温まる社会の発展に貢献しようとする愛情を育てる。 (3) 難局に遭遇して屈せず、失意にあって耐え忍び、自重以て他日を期すの気概と、困難を打開する力を育てる。

生徒の実態, 教師の願い
<ul style="list-style-type: none"> 素直で朗らかな生徒が多く、8割以上の生徒が進学をする。 学びというものに主体的に取り組み、実り多き学校生活を送って欲しい。

保護者や地域の願い
<ul style="list-style-type: none"> 将来は地域社会の発展に貢献する有望な人材となって欲しい。 社会のルールを守り、地域に活気をもたらすような活躍をして欲しい。

「志教育」の目標
<ul style="list-style-type: none"> 知情意の調和した心身ともに健全で個性豊かな人間性を身につける。 広く国際的な視野を持ち21世紀の我が国に貢献する気概を持つ。 地域や社会の発展に寄与する態度を身につける。

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
様々な人との人間的ふれあいを大切にし、相互の親密化を図るとともに、基本的な生活習慣の充実をはかり、自分自身の生活目標の確立を目指す。	自己理解の深化と個性の伸張を促しながら、よりよい生き方の手段としての自己を深く見つめた望ましい進路選択をさせる。	社会性の涵養と正しい職業観の育成により、社会の中での自分の役割を意識させ、将来にわたってのより良い自己実現のための態度を身につけさせる。

各教育活動における取組の観点	
各教科	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に即した指導方法により、基礎学力の充実と学習意欲の喚起に努める。 学ぶことの中に喜びを見いだせるように授業を工夫し、生徒自らが進んで学習しようとする意欲や態度を育て、学習習慣の定着を図る。
道徳	しっかりとした倫理観を持つ生徒の育成。
総合的な学習の時間	自分の将来と真摯に向き合い、社会貢献を視野に入れた進路学習に努めさせる。
特別活動	意欲的な集団活動を通して自己を磨き、より良い人間形成に努めさせるとともに、より良い人間関係、より良い学校生活の構築に努めさせる。
その他	マナーアップ運動を通して、交通ルールの遵守の他、主体的にあいさつができる、環境の美化に努めることができる態度を育成するとともに、活発な部活動により心・技・体のバランスの取れた人格の形成を目指す。

各学年の取組内容	
1年	① 基本的生活習慣の確立 ② 登下校マナーの形成 ③ 高校の授業進度と難度へのすみやかな適応 ④ 家庭学習習慣の確立 ⑤ 進路意識の高揚と早期の目標設定 ⑥ 学業と特別活動の両立 ⑦ 担任の生徒理解と学級の和の形成
2年	① 基本的生活習慣の定着 ② 登下校マナーの定着 ③ 高校の授業進度に対応した学習方法の定着 ④ 家庭学習習慣の定着 ⑤ 進路意識の高揚・早期の目標設定 ⑥ 特別活動と学業との両立 ⑦ 「全体指導」から「個別指導」へ
3年	① 基本的生活習慣の維持と醸成 ② 進路意識の早期涵養と進路目標の達成 ③ 学習意欲の高揚 ④ 担任の生徒理解と学級全体のモラル形成 ⑤ 学級全体の進路に向けた意識形成 ⑥ 特別活動と学業との両立

家庭との連携
保護者面談やPTA活動、授業公開、学校評価などの機会を通じて情報交換を図り、将来有為な社会人として、社会に貢献できる人材の育成に努める。

地域・近隣大学との協働
<ul style="list-style-type: none"> オープンキャンパスへの参加や大学教員を招いての模擬授業等を通して将来の学びに向けての「志」を醸成する。 各クラブ活動等を中心とした地域行事への積極的な参加を通して、地域の方々から愛される学校作りに努める。

平成28年度 宮城県泉松陵高等学校 「志教育」年間指導計画

宮城県泉松陵高等学校

3つの視点		わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす	わかる	もどめる	はたす	
各教科指導目標	国語	○	○		地理歴史	○		公民	○	○	数学	○	○	理科	○	○	
	国語の基礎知識を習得した上で、思考力や創造力を育むとともに、総合的な言語能力を生かして伝え合う力を高める。		日本及び世界の歴史を理解し、世界各国の文化風土を尊重し、世界の一員たることを自覚し、社会に広く目を向け、貢献できるような資質を養う。			現代社会の仕組みについて理解を深め、人類の一員として現代に生きる意義を自覚し、社会の形成者として社会に貢献できるような資質を養う。			数学的活動を通して、様々な事象を数学的に考察し表現する能力を高め、数学的根拠に基づいた判断力と問題解決能力を育てる。			自然現象に対して、科学的な観点を持って見つけ、自然と人間の関わりを探究することによって、自然災害や環境問題に対処できる力を養う。					
	保健体育	○	○		芸術(音楽)	○	○	外国語	○	○	家庭	○	○	情報	○	○	
	集団の中で協調する力を養うとともに、生涯にわたって健康の保持増進を図り、明るく豊かで活力ある生活を育む態度を育てる。		音楽文化の理解をとおして、自己と社会のかかわりをつかませる。充足感のある音楽活動をおして、自己の内面の支えを確立させる。音楽とかかわりのある生活によって、深みのある豊かな人生を獲得し、持続可能な社会の担い手とする。			外国語を通じて、外国の文化に対する関心を高めるとともに、他者を理解し、自分の意見を適切に伝えられるコミュニケーション能力を養う。			社会と家庭の関わりについて理解を深め、生活に必要な知識と技術を取得させ、男女が協力して生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。			情報化が社会に及ぼす影響を理解させるとともに、情報技術を適切に活用する能力を養い、社会の情報化に対応できる態度を育てる。					
学年共通					わかる	もどめる	はたす	各学年指導目標									
指導内容	① 基本的生活習慣の確立	○		◎	1年	1)文理選択に向けて、自己理解のための適切な援助を通して、個人の生き方を基盤にした進路育成を行う。 2)1年次末には、進路希望の未定をなくすことを目標に指導する。											
	② 集団活動の規律と秩序の確立	○		◎		2年	1)自己を表現する力を身につけさせ、自分の意志や希望をはっきりと伝えられる生徒を育成する。 2)2年次後期には明確な進路目標を決定させることでモチベーションを高め、入試準備に取り組めるよう努力する。										
	③ ホームルーム活動の充実	○		◎	3年		1)進路目標の達成に向けての様々な方法を探索し、課外講習や入試指導(推薦、AO、一般、就職)を通して生徒の意識を高め、目標実現のための指導援助を強化する。 2)上記の指導を通し、上級学校進学後も高いモチベーションを持って学業に取り組める生徒を育成する。										
	④ 基礎学力の充実			◎			1年	ねらい									
	⑤ 自主的学習態度の育成			◎	2年			指導教科等									
	⑥ 清掃活動の徹底	○		◎		3年	実施時期										
指導内容		ねらい			指導教科等		実施時期		時数		わかる	もどめる	はたす				
1年	スタディーサポート	学習習慣・意識・生活状況を振り返り、高校生活のスタートにあたっての目標を立てる。			総学	4・8月	2		◎								
	2年生での科目選択の仕方	自分の進路の方向性を考え、具体的なプロセスを組み立てる。			総学	5月	1		○								
	オープンキャンパスを活用するために	有効な情報収集のノウハウを学び、実際に見学に行く。			総学	7・8月	4	○	◎								
	地域ボランティア活動	地域の方々の役に立つような作業を行い、社会貢献の意義について学ぶ。			特別活動	7月	1	○		◎							
	キャリア教育セミナーおよびその事前事後指導	現役で働く社会人から話をしてもらい、生徒に目的意識を持たせ、適切な進路決定に向けての一助とする。			総学	10~12月	4	○	◎								
	小論文模試及びその事前事後指導	小論文の基礎を学ぶとともに、社会問題に対する視点を養う。			総学	10~1月	4	○	◎								
2年	スタディーサポート	学習習慣・意識・生活状況を振り返り、新学年のスタートにあたっての目標を立てる。			総学	前年度3月, 8月	2		◎								
	3年生での科目選択の仕方	進路の方向性を明確にし、志望校合格へのプロセスを具体的に考える。			総学	4・5月	2		○								
	志望学部学科を絞る	逆引き辞典の活用法を学び、自分の志望校を絞り込む。			総学	10月	1		◎	○							
	地域ボランティア活動	地域の方々の役に立つような作業を行い、社会貢献の意義について学ぶ。			特別活動	7月	1	○		◎							
	大学生と語る	分野別座談会形式で、大学生の生の声を聞くことで、受験準備とキャンパスライフについて学ぶ。			総学	7月	2	○	◎								
	オープンキャンパス参加	実際に大学を見学し、学科内容の把握と、受験に必要な準備を学ぶ。			総学	7・8月	4	○	◎								
小論文模試及びその事前事後指導	小論文の書き方に熟達し、社会問題に対する意識を深める。			総学	10~1月	4		◎	○								
3年	スタディーサポート	学習習慣・意識・生活状況を振り返り、新学年のスタートにあたっての目標を立てる。			総学	前年度3月	1		◎								
	評定平均値の計算と考査・模試の目標設定	現時点での自分の位置と、当面の具体的な目標を立てる。			総学	5・9月	2		◎	○							
	進路別ゼミ	それぞれの進路に応じた課題に取り組み、進路目標達成の実力を養成する。			総学	10月	1		◎	○							
											合計時数	36					